

さいたま市立大原中学校



<生徒一人ひとりが、夢と希望を抱き、自信と誇りをもてる教育を実践するための主権者教育の推進>

団体・学校の特徴	「生徒たちの、生徒たちによる、生徒たちのための学校」を掲げ、自校を心地よい（Well-being）場所にするために、生徒が話し合い、行動し、納得解を見つける取組を続けている。				
所在地（市町村名）	さいたま市	会員数又は児童生徒数	711名	活動期間	3年
活動内容	・主権者教育の視点を取り入れた授業実践 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成 ・生徒主体の生徒会活動「大原前進プロジェクト」				

特徴的な活動



主権者教育の視点を取り入れた授業実践 大原中学校で設定した主権者教育の視点（①主体的に参画しようという力、②多面的・多角的な考察、③課題の解決に向けた協働的な追究、④合意を形成する力）を取り入れ、単元・題材の指導計画に「話し合い」から「伝え合い」に発展させた活動を設定した。自分たちの生活を自分たちでよりよくしていこうとする参画意識の向上を図っている。



選挙啓発出前授業の実施 さいたま市選挙管理委員会と連携して中学3年生で選挙啓発出前講座を実施した。近い将来有権者となる生徒が選挙に対する正しい知識や重要性を学び政治や選挙に関心を高める活動となった。

生徒主体の生徒会活動（大原前進プロジェクト）の取組 令和2年度に、生徒会本部役員、各学級の自治委員（学級委員）、各委員会委員長、各部部长で構成される50人を越えるメンバーで、「大原前進プロジェクト」として活動を開始した。これまでに、「体育祭の縦割り種目の実施」「体育着・ジャージ授業の実現」「校則見直しプロジェクトの実施」等を通して、生徒の社会的自立に向け基盤となる能力や態度を育成している。

